令和６年度幸手市 SDGｓ道徳プロジェクト

# ありがとう作文

幸手市教育委員会と幸手市道徳教育推進協議会議では、SDGs１１「住み続けられるまちづくり」を推進するため、心温まる、住みよいまちづくりを目指しています。
今年度のテーマは、「伝えよう感謝の気持ち」です。日頃感じている感謝の気持ちを、この機会に伝えていただきたい、と思い作文を募集しました。たくさんの「ありがとう」のメッセージに、幸手市のみなさんの心が温かくなることを願っています。

【題】【おいしいきゅう食ありがとう】

ぼくが、ありがとうをつたえたいのは、人つかいのちょうりいんさんです。毎日、みんなにおいしいきゅう食をつくれる食べすてたらもったいないのにおばあちゃんがいうもんです。

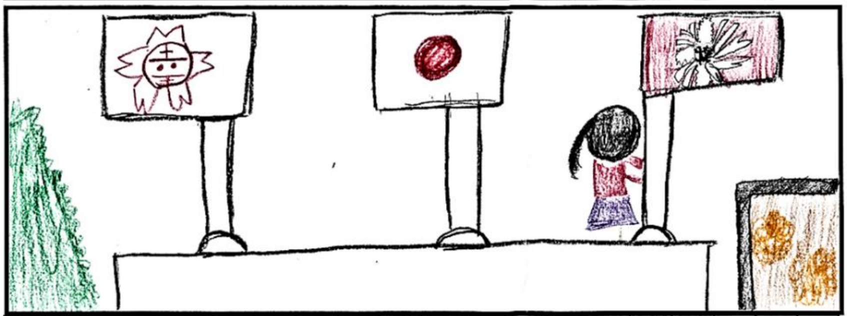
最優秀賞

上高野小学校 二年
神山 能槻

## 最優秀賞

**権現堂川小学校　四年　鳥海　葉風**

【題】【六年生いつもありがとう】



わたしが今、ありがとうを伝えたいのは、六年生のみんなです。

いつも、学校のはた当番をやってくれて、ありがとうございます。五・六年生が林間学校に行っていた時に、はた当番をやったら、はたをつける所がわからなくて、友達がてつだってくれました。さいしょは、かんたんだと思っていたけど、やってみたら、むずかしくて大変でした。六年生いつもありがとうございます。

わたしも、六年生みたいにやさしくて、みんなにたよってもらえる、六年生になりたいです。

## 最優秀賞

**上高野小学校　六年　矢島　希恵**

【題】【六年間支えてくれたおばあちゃんへ】

私は、六年間の小学校生活を支えてくれたおばあちゃんにありがとうを伝えたいです。

今まで、私だけではなく弟やお母さんのことも支えてくれたおばあちゃん。いろいろな場所に連れていってくれたり、習い事の空手もたくさん応援してくれたりしました。昔の子どものころの話をたくさんしてくれて楽しかったし、相談もたくさん聞いてくれました。おいしいご飯、たくさんの経験、温かい応援、優しい言葉。たくさんのものをくれるおばあちゃんに私は何を返せるでしょうか。どんなことで恩返しできるでしょうか。おばあちゃんへの感謝を言葉にして伝え、少しでも「うれしい、幸せだ」。と感じてほしいです。あとどのくらいの時間おばあちゃんと過ごせるか分からないけれど、次に会ったら伝えたいです。

「ずっと支えてくれてありがとう。これからは私がおばあちゃんを支えるね」。

## 最優秀賞

### 幸手中学校　二年　田中　絆菜

【題】【ひいおじいちゃんへ】

　私には、父がいません。その分、家族に支えられて生きてきました。なので、ひいおじいちゃんは私にとって父親の様な存在です、

　小学生の頃、私は毎週の様にひいおじいちゃんの家に遊びに行って、一緒にせんべいを食べたり、話をするのが楽しみでした。ひいおじいちゃんは昔から犬が大好きで、チャンピオン犬を育てていた頃の話や、豆知識などをたくさん教えてくれたり、時には怒られたり、一緒に家事や犬の散歩をしたり、親の様に私を育ててくれました。高学年になると、徐々に恥かしさや、反抗心が芽生え始め、ひいおじいちゃん家に遊びに行く事も少なくなり、反抗する様になりました。そんな時、ひいおじいちゃんが家の前で倒れて入院しました。心配で今すぐに会いたかったですが、病院内で感染症が流行していて面会ができませんでした。ずっと会えず話せないまま何カ月か経ち、ようやく面会できる日時が決まった時、ひいおじいちゃんは亡くなりました。何も感謝の気持ちを伝えられないまま、天国に行きました。私は、今でも反抗した事、「ありがとう」と言えなかった事、ずっと後悔しています。

　だから、伝えたいです。

ひいおじいちゃん、ありがとう。

## 最優秀賞

### 一般の部　金子　紗織

【題】【五文字で伝える感謝の言葉】

　私たちは自分ではない誰か、もしくは自然に支えられながら生きています。私たちは支えられながら平和に過ごすことができています。しかし、それらは決して「あたりまえ」ではありません。今、地球上では戦争によって昨日まであった「あたりまえ」が失われたり、十分な食事をとることや学校に通って勉強をすること、きれいな水や安心して過ごせる場所がない地域があります。私たちが「あたりまえ」として考えてきたものを生まれた時から経験することができていない人たちが同じ地球上にはたくさんいます。私はいつもあるもの、できることを「あたりまえ」とは思わず「ありがとう」と感謝の気持ちを持つことが大切だと思います。体の栄養を蓄えるために必要な食材は農家の人などが育ててくれています。私たちの知識や能力を育むために学校という施設を設けて先生が私たちのために教えてくれます。これらの他にも私たちの周りでは様々な形で生活を支えてくれている人がたくさんいます。私は安全安心に過ごせている毎日を「あたりまえ」の五文字ではなく「ありがとう」の五文字で日々支えてくれている全ての人に感謝の気持ちを忘れずに過ごしていきたいと思います。